

FANCT



旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”

vol.
118

平成26年3月発行

Contents

特集

卒業・修了おめでとう!

－ かけがえのない日々とこれから － 2

連載企画

先生の横顔 番外編 退任教員挨拶 10

ANCTOPICS 11

僕たち・私たちの青春! ロボコンspecial 12

ANCT VOICE 14

平成26年度行事予定 16



雪景色の校舎

卒業・修了おめでとう！

－ かけがえのない日々とこれから －

卒業生・修了生みなさん、卒業・修了おめでとうございます。これまで
高専で過ごした思い出を胸に、未来へ羽ばたいて行ってください！

卒業・修了生へのメッセージ



校長
高橋 英明

「卒業・修了おめでとう」

本科卒業生諸君および専攻科修了生諸君、卒業・修了おめでとうございます。諸君らは、長く、厳しい訓練の期間を経て世の中に、今旅立とうとしています。そんな諸君だからこそ、その喜びは、人一倍大きいのではないかと思います。

発展途上国の経済成長は目覚ましく、それらにおける経済規模が、先進諸国圏におけるそれより大きくなりつつある現在、経済がさらにグローバル化し、我が国のものづくり産業の海外移転の動きは、ますます加速しつつあります。本校は、「国際社会で活躍できる人材の育成」を目指して教育をしていますので、卒業・修了生諸君には、充分にその準備が整っていることと思います。人種・文化・宗教の異なる人たちと、協力し合って新しい社会を形成するため、大きく羽ばたいてほしいと思います。

諸君らのこれからの人生は長く、楽しいこともありますが、苦しいことも待ち構えているかもしれません。そんなとき、もっとも大切なのは、信じることができ、相談できる仲間です。諸君らには、長年、一緒に学んだ同期の仲間がいますし、数多くの先輩・後輩もいます。教職員も後ろから見守り続けています。時折、キャンパスに戻り、諸君らの活躍ぶりを報告いただければ、うれしい限りです。

高橋 英明

「卒業・修了おめでとうございます」

第48期本科生及び第14期専攻科生の皆さん、卒業及び修了おめでとうございます。また保護者の皆様には、5年間または7年間の長きにわたり、ご子息、ご息女のご指導や本校への応援等、誠にありがとうございました。

今年度の卒業生は機械システム工学科39名、電気情報工学科33名、制御情報工学科39名、そして物質化学工学科35名の合計146名です。この内、女子学生が17名います。卒業生の進路としては、就職内定者が78名、大学等に進学する学生が62名になります。また、専攻科生は生産システム工学専攻20名、応用化学専攻7名の合計27名が修了します。就職内定者は生産システム工学専攻9名で応用化学専攻ではありません。大学院に進学する学生は生産システム工学専攻11名、応用化学専攻7名全員の合計18名です。卒業生・修了生には、わが校で培った知識と技術を存分に発揮し、就職先や進学先で活躍していただきたいと願っています。

最後に、保護者、卒業生及び修了生の皆様には、今後とも本校運営へのご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

Hashimoto



教務主事(校長補佐)
橋本 直樹

「祝・卒業そして修了！」

本科卒業生と専攻科修了生の皆さま、保護者の皆さま卒業、修了おめでとうございます。

学生の多くは中学卒業から高専に通学しています。この高専が大学と同様に「高等教育機関」であることを体感できましたか。「高専高校」と呼ぶ市民もいますが、研究活動とその成果の社会還元を課せられているところが高専と「高校」とは明らかに異なります。

卒業生は「卒業研究」、修了生は「特別研究」を体験し、その成果を発表し、論文を書き上げることで単位を取得されたはずです。多くの座学・演習などには一つの正解がありますが、「研究」にはいろんな解答(成果)があります。もしも異なる学生が、同じ研究テーマで研究活動をしたとしてもその成果が異なります。

では、一つの正解がないことに戸惑いを感じたことはないでしょうか。また、欲を出して研究の成績で「優」や「秀」を取るにはどうすればいいのでしょうか。たぶん実行可能なことは、テーマに興味を持って自分なりに納得できるように取り組むことだけではないでしょうか。旭川高専を飛び立つ皆さんは、この貴重な体験を今後の人生に生かしてください。常に自分なりの成果を誇れるように、日々の取り組みを大切にしてください。そして、たまにはその元気な姿を見せにきてください。

lwaoT.



専攻科長(校長補佐)
富樫 巖

ご卒業おめでとうございます。皆さんがこの五年間に会った友人や出来事は一生の宝物になるはず。大切にしたいと思えます。春からは一つ上のステージに進むわけですが、常に向上心を忘れないで、それぞれの目標・志を高く持ち、仕事や学業に励んでいってください。

人生の先輩として幾つかアドバイスしたいと思います。規則的な生活スタイルを保って、暴饮暴食は避けましょう。野菜や豆類のような自然のものを食し、加工食品は控えましょう。体を冷やさないことも大切です。それから、特に大事なことは「精神的に豊かに過ごす」ことです。まわりからの愛の温かさを感じ、現在の自分がどれだけ幸せなのか認識し、感謝の気持ちで心を満たし、家族や友人に「今日も一日どうもありがとう」と言葉で伝え、なんとなくいい気分になったところで寝る。こうすると体調も良くなりますよ。

健康には十分注意してください。一人ひとりが旭川高専を代表する者として、ワールドワイドに活躍されることを祈っています。

千葉 良一



機械システム工学科5年担任
千葉 良一

制御情報工学科5年の諸君、卒業おめでとうございます。今回は、毒舌路線で書かせていただきます。

私事で恐縮ですが、前の担任が終わり、僅か1年後に皆さんの担任となったので、正直「またかよ」という思いがありました。

担任として皆さんと3年間を過ごしましたが、振り返れば、私自身は別に大した苦勞もしなかったと思います(白髪は増えましたが)。一方、皆さんは、必ず進級・卒業するという強い意思を持って(なるべく)学業に励み、放課後は部活動(やアルバイト)で汗をかき、就職や進学では白か黒の厳しいジャッジに一喜一憂し、苦勞を重ねながらも、卒業という一つのゴールに到達しました。その原動力となったのは、叱られても、失敗しても、気持ちを切り替えて次の一步を踏み出せる「明るさ」であると思います。この明るさを、いつまでも持ち続けて下さい。

この5年間で皆さんが積み重ねた努力や経験は、将来必ず何らかの形で実を結びと私は確信しています。4月から始まる新しい環境で、思う存分活躍して下さい。

戸村 豊明



制御情報工学科5年担任
戸村 豊明

卒業・修了おめでとう！ - かけがえのない日々とこれから -

「かけがえのない日々とこれから」

電気情報工学科の諸君、ご家族の皆様、ご卒業おめでとうございます。

5年前の春、いろいろな夢を持った諸君が北海道の各地から集まり、旭川高専において密度の高い学生生活を過ごしたと思います。その間、家族からの心暖かい援助を受け、級友と助け合い、社会から支援を受け、そして、自らの努力の甲斐もあり、無事に卒業を迎えることができたと思います。

4月から企業や大学などの新しい環境において、多種多様な価値観を持った人たちと過ごすこととなり、不安と希望が入り交じっているのではないかと思います。諸君は5年間の学校生活の経験から、必要な知識・技能を養い、人間的にも魅力的な若者に成長しています。自信を持って新しいことにチャレンジしてください。しかし、これからの人生において、努力が必ずしも成果として現れず、他人から評価されないこともあります。その時は、自己を見つめ直し、さらなる成長の機会と捉えて、次の論語の言葉を思い出してください。

「人の己を知らざることを患えず、人を知らざることを患う」

諸君の正しい努力はきっと誰かが見ています。

最後に、皆さんが自ら幸せになり、そして、誰かの幸せの実現をサポートできる技術者、科学者、教育者になることを期待しています。

井口 傑



電気情報工学科5年担任
井口 傑

「卒業に寄せて」

物質化学工学科の皆さん、卒業おめでとう！2年前、絡み上手で面倒見の良い杉本先生から引き継いで以来、拙い担任に付き合ってくれてありがとう。

授業を通して抱いていたクラスの印象と、その中に飛び込んで見える実像には当然ズレがあって、当初はそれを埋めたり繋げたりしながら一つ一つ業務をこなしていたように思います。体育大会用に奮発したカメラも当日充電を忘れ、勇気を振り絞って飛び込んだ女子会ランチではろくに喉を通らず、クラス目標に掲げた「全員進級！」も大惨敗…なんてときは、こんな私でも結構凹んだものです。その一方で、実験室や教室の大掃除に多数の学生が参加してくれたり、非常勤の先生から「温かい思いやりの感じられるクラスですね。」なんて言われるととても嬉しくて、きつい思いっきりニヤケていたことでしょう。

この春、いよいよ温室を飛び出す君達に願うのは、「どうか素敵な大人になって幸せな人生を送って下さい。」ということに尽きます。その為に何をして、何を耐え、何を守るのか？いつの日か、酒を飲みながら君達とそんな話をする日が来ることを夢見るこの頃です。

“面倒だから、しょう！”

古崎 睦



物質化学工学科5年担任
古崎 睦

卒業・修了生へ質問!

みなさん、高専で過ごした日々はどんなものでしたか?みなさんの高専生活を振り返ってもらい、思い出やメッセージ、これからに向けた決意などを聞いてみました。

Q1 高専生活で1番印象に残っていることは?

高専に入学してからの5年間で1番印象に残っていることは部活動です。僕はラグビー部と剣道部に所属しており、2年生の時に剣道部、3年生の時にラグビー部で部長を務めました。結果的に全国にはいけませんが情熱的なコーチ、練習についてくださった顧問の先生方、そしてとても優秀な後輩に恵まれてとても充実した5年間でした。ラグビー部は打倒函館、剣道部は打倒苫小牧目指してこれからもがんばってください!!



電気情報工学科5年
伊藤 智哉



物質化学工学科5年
前谷 樹里



高専生活で1番印象に残っていることは、卒業研究です。1年かけて1つのテーマを先生や同級生と一緒に研究してきたことは、これからの大学生活にいかせることだと思います。論文提出や卒研発表など、大変なことがいろいろあったけど、いい経験になりました。



生産システム工学2年
浦田 昇尚

私的なことですが希望していた大学院に合格できたこと、そして同じように専攻科で2年間を共にしてきた仲間たちが皆が各々に望んでいた進学・就職先へ進んで行けること、それがないよりも印象に残ります。



機械システム工学科5年
畠山 寛輝

僕は野球部に所属しておりましたので、やはり部活での思い出が一番印象に残っています。試合、練習、合宿など思い起こせばきりがありません。また、クラスで体育大会に団結したこと、学校祭を協力して成功させたことを忘れず、常に助け合いの心を持ってこれからの社会人生活を送りたいと思います。

私が高専生活で一番印象に残っているのは卒業研究です。5年間の集大成ということで一生懸命取り組みました。卒業研究発表会では、練習の成果を発揮することができ、満足のいく発表ができてよかったです。一年間お世話になった先生方に感謝し、今後の生活や仕事等で活かせるように努力していきたいです。



制御情報工学科5年
川浪 拓人

校内体育大会表彰式後
クラスのみならず



Q2 お世話になった先生や両親へメッセージを!

卒業・修了おめでとう! - かけがえのない日々とこれから -



物質化学工学科5年
水野 佑亮



私が旭川高専に入学してからもう7年が経ちました。2度の留年を乗り越えてここまでやってこられたのは友達や先生、そして両親のおかげです。私は4月から三重県で社会人として働きます。今度は、私が7年間の恩返しをする番です。両親に一人前になった姿を、お世話になった人たちに成長した姿を見せることができるよう頑張ります!



制御情報工学科5年
吉川 昇汰

5年間の高専生活の中で、両親はもちろん、いろいろな先生にお世話になりました。実際に工作機械を使っての実習やプログラミングなど、高専でしか学ぶことのできないことをたくさん教えていただきました。この学校で身につけた知識を、社会人になってからも活かしていきたいです。



教室で
友達との1枚



私は、高専生活で様々な方にお世話になりました。1、2年生の時の担任である谷口先生、3、4、5年と担任をしてくださった千葉(良)先生、そして卒業研究などで深くお世話になった松岡先生には大変ご迷惑をおかけしました。また、一般教養の先生方や実習工場の先生方、そして毎朝お弁当を作ってくれた母には申し訳ないほどお世話になりました。これからの生活に高専の本科5年間で学んだことを生かしていきたいと思います。



機械システム工学科5年
中村 諒

高専で過ごした7年という長く短い月日は私にとってかけがえのないものとなり、この高専を、専攻科を選んだことに微塵の後悔もなく、こうしてその生活を終えることを誇らしく、そしてさみしく思います。今の私を形作ってくれた全ての友に、家族に、先生方に、そして高専に、「ありがとう」を抱いて進んでいきたいと思っています。



思い返せば高専での5年間は色々な方々に支えられて生活してきました。両親には毎日の生活を支えてもらい、担任には進路やインターンシップ先のお世話をし頂き、交流の深い先生方には授業以外でも様々な経験をさせて頂きました。これからも高専での経験を糧に別の分野でも力を発揮したいと思います。



電気情報工学科5年
辻川 尚輝



生産システム工学専攻2年
久澤 大輝

Q3 卒業・修了にあたり、後輩へ一言！

私から後輩に伝えたいことは、趣味などを通じて他の人があまりした事がないような経験をして欲しいということです。私が就職にあたって受けた面接では学校の成績のことよりも学生の間にどんな経験をしてきたかの方が多く聞かれました。学生のうちにしか出来ない経験をたくさんしてください！きっと自分の武器になると思います。



機械システム工学科5年
川里 真吾



学校祭での
パフォーマンス！



制御情報工学科5年
佐藤 悠

後輩のみんなへ
何事にも負けないで逃げないで向かっていって欲しいな。
そうして頑張っていれば、きっと結果はついてくるよ！
それに目の前のことに逃げている、いつかそのツケが回ってきて大変になってしまうしね(汗)
そうならない様に決して後悔しないように今後の学校生活を楽しんでね!!



電気情報工学科5年
前多 祐也

寮生活や部活動でともに楽しい時間を過ごせました。特に3年生から吹奏楽部に入って後輩たちと仲良くなれたのがうれしかったです。来年、私は専攻科生なので見かけたらあいさつさせてください。春になったら遊びにきてね!



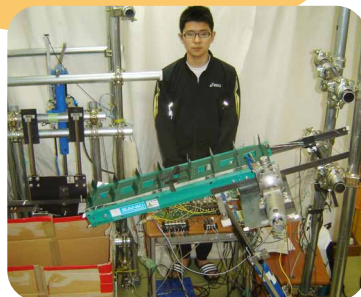
5年間過ごした
女子寮で
友人にピース



私は本科の5年間陸上部に所属していたおかげで、とても充実した学校生活を送ることが出来ました。たまに成績が振るわず部活をやめる後輩がいましたが、自分の経験上部活をやめた方が主に起床時間、集中力などの点で堕落しやすいので、成績改善には繋がらない事も多いです。だからなるべく部活も続けたまま頑張っておきたいです。多少忙しいくらいの方が毎日楽しいので、部活も研究も両方充実させるような欲張りな気持ちで頑張ってください。



生産システム工学専攻2年
木本 義之



今思うと5年間は短くて、ほんとに楽しいことばかりでした。授業は大変でしたが、体育祭、学祭、打ち上げ、旅行、卒研他にも数え切れない思い出ができました。後輩のみなさん、5年間、長いようであっという間なので高専生であるうちにできることを思いっきり楽しんでください。最後にお世話になった先生方、先輩方ありがとうございました。



物質化学工学科5年
高橋 桃子



Q4 これから始まる新しい生活へ向けて決意表明してください。

私は来春、室蘭工業大学の学生になるため、目標としている希望を述べます。まず、三年間の高専生活で自分が出来なかったこと、すべきはなかったことを反省して、大学生活では一層勉学に励み、大学院進学をして日本企業に就職したいです。また、ラグビー部のコーチであるたまきさんが言った通り、「いい嫁を見つけて、子供をいっぱい作って、いつか旭川に戻ってこい」という言葉を実現できるように素直に願っています。



機械システム工学科5年
MOHAMMAD KHAIRI BIN MOHAMMAD KAMEL
(モハンマド カイリー ビン モハンマド カイル)



「俺達の戦いはこれからだ！」
この言葉は、少年漫画の最終回にありがちで、あまり良くない評価をされるのが一般的な論調です。しかし、この言葉は、とても現実的でもあります。どんな節目を迎えようとも、人生は続いていくのですから。高専卒業という節目を迎えますが、僕の人生は終わりません。先が無くとも、僕は戦い続けていきます。



電気情報工学科5年
加藤 広希



応用化学専攻2年
中田 暉

私が専攻科に入学してから2年間、先生方や同期の友人に支えられながら学問だけではなく、人間として生きていくうえで大切な事を学び、無事修了することができました。これからも、高専での日々を忘れずに大学院に進みたいと思います。



普段の
研究風景



物質化学工学科5年
BATBUYAN MUNKH-OD
(ハトブヤン ムンフオド)



母国を離れ、日本で一番北にある旭川高専に編入学してから3年が経ち、卒業を迎えることができました。この3年間は私にとって、長いようで短い、重要なものでありました。初めの頃、同じ国の学生が一人もいなく、違う国の人々に囲まれて過ごす年月はとても長く感じていましたが、振り返ってみるとあっという間に過ぎた3年間でした。それはクラスや寮の皆さん、また、研究室の皆さんと充実した日々を過ごしてきたのだと思います。食べ物や文化など全てが異なる日本で生活し、勉強を学び、卒業を迎えられるのも、支えてくれた旭川高専の皆さん、特に物質化学工学科教員の皆さん、担任の古崎先生、杉本先生、寮生の皆さん、クラスの皆さんのおかげです。心から感謝しております。これから、卒業生の皆さんがそれぞれの就職先・進学先で自分自身の道を作って行き、なかなか会えなくなることは寂しく思っています。旭川高専への編入学、そして大学への編入学を応援してくれた家族や日本の政府に「ありがとう」と伝えたいです。自分の夢に向かってこれからも頑張ります。

「新たな生活に向けて」
僕はこの春旭川高専を卒業し、次なるステップとして豊橋技術科学大学に進学します。今まで親元を離れ寮生活を行ってききましたが、豊橋では一人暮らしを行う予定です。豊橋に行ったら、目標の為に学業に専念するのはもちろんのこと、一人暮らしの自覚を持って、身の回りのことを一つ一つこなしていきたいと思っています。



制御情報工学科5年
早川 大貴

平成25年度 卒業生・修了生進路状況

就職 本科:78名 専攻科:9名

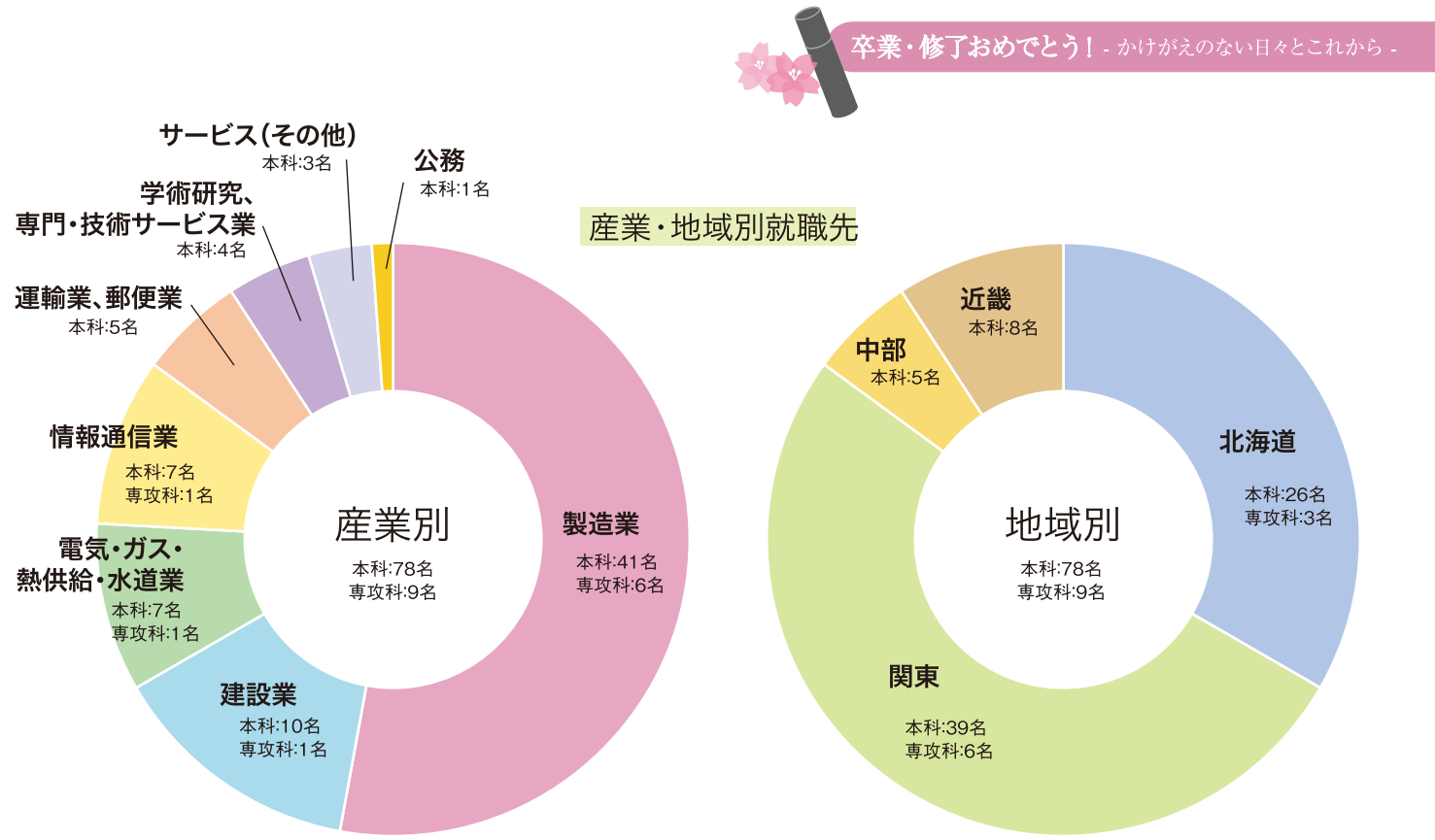
本科就職先

企業名	機械	電気	制御	化学
旭川ガス(株)				1
(株)アサヒ建設コンサルタント	1			
(株)アットマークテクノ			1	
(株)アルファシステムズ			1	
出光興産(株)			1	1
エア・ウォーター・プラントエンジニアリング(株)	1			
SOC(株)			1	
(株)エヌ・ティ・ティ エムイー	1		2	
オムロンフィールドエンジニアリング北海道(株)		1		
花王(株)	1			
カルビーポテト(株)			1	
キヤノンマーケティングジャパン(株)	1			
極東石油工業(合)				1
小島プレス工業(株)	1			
コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)	1			
三洋化成工業(株)				1
JXエンジニアリング(株)		1		
JX日鉱日石エネルギー(株) 室蘭製油所	1			
JNC石油化学(株) 市原製造所				1
ジャパンファインプロダクツ(株)				1
ジャパンマリンユナイテッド(株)	1			
(株)JALエンジニアリング	1			
セイコーエプソン(株)	1		1	
(株)瀬野鉄工所	1			
(株)総北海		1		
ダイキン工業(株)	1	1		1
(株)ダイナックス			1	
大陽日酸東関東(株)		1		
DIC(株)				1
テコム(株)		2		
東海旅客鉄道(株)			1	
東芝エレベータ(株)	1		1	
東芝メディカルシステムズ(株)		1		
東レ(株)				1
ドコモエンジニアリング北海道(株)		1		
(株)ニコン	1			
日農機製工(株)			1	

企業名	機械	電気	制御	化学
日機装(株)			1	
(株)日興ジオテック				1
日本貨物鉄道(株) 北海道支社			1	
(一社)日本血液製剤機構			1	1
(株)日本触媒				1
チトセ浜理薬品(株)				1
(株)ピーエスジー			1	
日立建機(株) 土浦工場	1		1	
(株)日立ビルシステム	1			
(株)ヒロエンジニアリング	1	2		
北海道職員				1
北海道エア・ウォーター・エンジニアリング(株)			1	
北海道住電精密(株)				1
北海道電力(株)	1	5		
北海道旅客鉄道(株)	1		1	
三菱電機ビルテクノサービス(株)	1		1	
村田機械(株)			1	
メタウォーター(株)			1	
(株)森精機製作所	1			
(株)ヤマザキ				1
山崎製パン(株)	1			
(株)リコー			1	

専攻科就職先

企業名	生産	応用
(株)DNP情報システム	1	
(株)日本除雪機製作所	1	
日本電子(株)	1	
(株)日立製作所 都市開発システム社	1	
(株)日立パワーソリューションズ	1	
富士電機(株)	1	
北海道電力(株)	1	
(株)牧野フライス製作所	1	
三菱電機ビルテクノサービス(株)	1	



進学 本科:62名 専攻科:18名

本科進学先

学校名	機械	電気	制御	化学
旭川高専専攻科	6	3	4	5
北海道大学		1	1	
北海道教育大学	1			1
室蘭工業大学	2		2	1
北見工業大学	1			
弘前大学				1
岩手大学		1		
東北大学		1		2
宇都宮大学				1
金沢大学			1	
千葉大学	1			
東京農工大学	1		1	
首都大学東京			1	
静岡大学				1
長岡技術科学大学		5		2
豊橋技術科学大学	1	3	3	2
名古屋大学				1
名古屋工業大学				1
愛媛大学	1			
九州工業大学	1			
専門学校等	1			1

専攻科進学先

学校名	生産	応用
北海道大学大学院	6	5
筑波大学大学院	3	
奈良先端科学技術大学院大学	2	1
北陸先端科学技術大学院大学		1

*科名の略称について… 本科／機械(機械システム工学科)、電気(電気情報工学科)、制御(制御情報工学科)、化学(物質化学工学科)
専攻科／生産(生産システム工学専攻)、応用(応用化学専攻)

先生の 横顔

番外編

退任教員からのご挨拶



高橋 英明
校長

「Time flies」
「光陰矢の如し」です。本校に校長として赴任して来て以来、あっという間に6年が過ぎ去り、3月には定年退職を迎えようとしています。赴任直後の学校だよりに「校長就任にあたって」の一文を載せました。本校に対する第一印象を「教える側と教えられる側が、相互の人間性に影響を及ぼしながら、本気で向かい合っている」と書きましたが、その姿は、今でも変わっていません。
先日、5年生の卒業研究発表会があり、朝から4つの学科を順繰り回って学生達の発表を拝聴させていただきました。いずれも、大変素晴らしい発表でした。「馬子にも衣装」かも知れませんが、黒のスーツ姿でマイクとレーザーポインターを持つ姿は、本当に見違えるばかりで、頼もしく映りました。あどけない、まだ子供らしさの残る新入生が、先生方に鍛えられ、ここまで成長した姿を本当に嬉しく思いました。

私は、校長として本校のためどんなことができたのでしょうか。本校の国際化を目指し、国際学術協力協定の締結やら、学生・教職員の交流などいろいろな仕掛けを創ってきました。しかし、まだまだ、道半ばであり、もっともっと進展して行ってもらいたいものです。一昨年、本校は創立50周年を迎えました。関係各位のご協力のもと、記念事業を滞りなく成し遂げられたことを誇りに思っています。50周年を機に「明朗誠実 自主創造」の校訓を定めました。私が本校を去ったのちにも、学生達には、この校訓を胸に切磋琢磨して勉学に励んでいただきたいと思います。
赴任当時は、廊下で学生に会う度、学生の方から「おはようございます」「こんにちは」と声を掛けられ、あわてて挨拶をかえたものでした。しかし、最近では、私の方から自然と挨拶の言葉がでます。私が、この6年間学生達に育てられていた訳です。
こんな素晴らしい旭川高専、「永久に栄えあれ」と祈るばかりです。関係各位には、大変お世話になりました。4月からは、サポーターとして本校の発展を見守りたいと思います。



十河 克彰
一般人文科
教授

私は木が好きです。中でもアカエゾマツに魅力を感じます。旭川高専中庭の一角に、凛として立っているあの三本松です。極寒の北海道の風雪に耐え生立つその姿は力強く、狐の尻尾のような針葉の深緑と白い雪のコントラストは美しく感動を覚えます。冬に似合う木です。
私は平成7年4月1日着任いたしました。通算19年間勤務させていただきました。勤続年数19年は、相対的に決して長い期間ではありません。しかし、着任時、三本松は幼木でした。それを思うと、長きにわたり皆様には日々大変お世話になりました。ありがとうございます。心から感謝の意を表します。今冬、三本松は校舎3階の高さに達しています。アカエゾマツらしい風貌になってきました。
ところで、カナディアン・ロッキーに、“Three Sisters”という秀峰があります。3つの峰が連続していることから、“Three Sisters”と呼ばれています。峰の名前は、“Faith”, “Charity”, “Hope” です。勇気と希望を与えてくれる名前です。“Three Sisters”になぞらえて、私は密かに三本松に「信頼」、「寛容」、「希望」の名前をつけ、元気をもらっていました。
アカエゾマツは成木になると、樹高40メートルもの巨木になります。遅しく、気高く、旭川高専学生に相応しい木です。学生諸君には、研鑽を積み、国内はもとより国際社会での活躍を願っています。でも学業だけでは不十分です。世界には多種多様な人々が生活しているからです。相互理解が必要です。「信頼」、「寛容」、「希望」は、国を越えて万人が共感できる心です。気が向けば、三本松に、「信頼」、「寛容」、「希望」と呼びかけてみて下さい。きっと、希望の扉が開くでしょう。
お陰様で、どうにか職務を全うできました。再度、旭川高専教職員、学生、父母の皆様、そして三本のアカエゾマツに感謝を申し上げ、退任のご挨拶といたします。
ありがとうございました。

ANCTOPICS



専攻科インターンシップ報告会を開催しました

12月6日(金)に、本校において、「平成25年度専攻科インターンシップ報告会」を開催しました。本校専攻科では、必修科目の一つとして長期インターンシップを実施しており、今年度も受け入れていただいた企業等のご協力を得て無事終えることができました。
この報告会は、その成果を発表する場として毎年実施しており、当日は、受け入れていただいた企業担当者、本科学学生及び教職員41名の参加があり、学生達は自分たちで作成した要旨集やパワーポイントを用いて、それぞれ工夫を凝らした発表を行っていました。
インターンシップを通じて経験した貴重な現場体験と、企業からいただいたアドバイスは、彼らにとって大きな財産になったと思います。



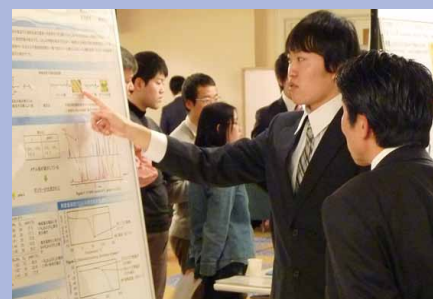
地域開放特別事業(冬期) 「冬休みの一日を旭川高専で楽しもう！」 を開催しました

1月11日(土)に、本校において、地域開放特別事業(冬期)「冬休みの一日を旭川高専で楽しもう！」を開催しました。
この事業は、地元の小・中学生に科学・工学に関する体験イベントや製作・実験等を通して、ものづくりや理工系教科への関心を深めてもらうために開催しているもので、毎年申込期限を待たずに定員に達するほど好評を博しており、今年も市内及び近郊の小・中学校から、保護者を合わせて約100名が参加しました。
午前中は、高専ロボコン大会に出場したロボット操作体験やミニロボットの制作を、午後からは4コースに分かれ、「キモカワ貯金箱」、「ステレオアンプ」、「光に反応して動くマシン」及び「スタンプ、キャンドル、カイロ」の製作を行い、参加した小・中学生は、教員や高専学生のサポートを受けながらハンダ付けなど難しい作業にも挑戦していました。



発明研究会、5年連続の Patent コンテスト・デザイン Patent コンテスト入賞及び文部科学省科学技術・学術政策局長賞受賞

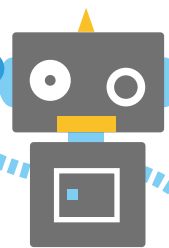
本校発明研究会に所属するシステム制御情報工学科1年の石井 寛人君が、平成25年度 Patent コンテスト・デザイン Patent コンテスト(主催:文部科学省、特許庁、日本弁理士会、(独)工業所有権情報・研修館)において、意匠出願の支援対象に選出され表彰されました。これで、発明研究会のメンバーは、平成21年度から5年連続で、同コンテストにおいて支援対象に選ばれたことになります。また、昨年度、同コンテストに入賞した電気情報工学科5年高橋 良太君は、平成26年1月に、高橋君にとっては2つ目となる意匠権が登録査定となり、先日、特許庁から意匠登録証が交付されました。そして、この度、発明研究会の5年にわたる全国コンテストでの実績に対して、文部科学省から、今年度新たに設けられた「文部科学省科学技術・学術政策局長賞」を授与されました。高専生にとって知的財産権に関するマインドを醸成することは、将来的にとっても重要なことです。今後も、発明研究会のメンバーには、学業と両立させながら、同コンテストでの入賞記録を伸ばしてほしいと思います。



専攻科特別研究発表会を開催しました

2月7日(金)に、旭川市内のホテルにおいて、「専攻科特別研究発表会」を開催しました。この発表会は、専攻科2年生が、2年間の研究の集大成として、市内の企業担当者をはじめ、一般市民に広く専攻科及び学生の研究内容を紹介するとともに、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の向上を図ることを目的として、毎年実施しています。当日は、市内の企業関係者、保護者、本科学学生、教職員など66名を超える参加があり、ポスターセッションによる熱心な説明と、研究成果の展示等により、非常に活気のある発表会となりました。

僕たち ・私たちの青春!



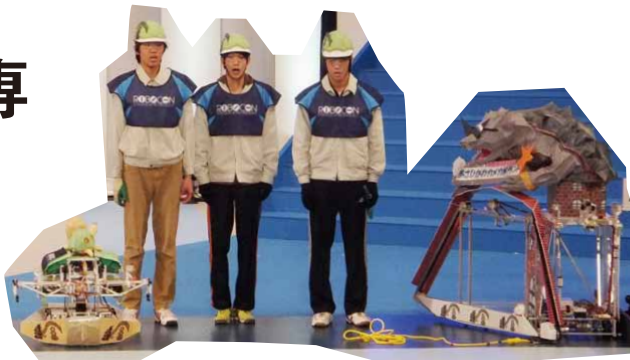
ロボコン
SPECIAL

本校には30のクラブ・同好会があり、日夜練習や活動に励んでいます。今回は、「ロボコン」でおなじみのロボット・ラボラトリを特集します。

アイデア対決・全国高専 ロボットコンテスト2013



本校は、1回戦・2回戦を順調に勝ち上がり、2年連続のベスト4進出をかけた準々決勝で、優勝した徳山工業高等専門学校の「色とりどり」に惜しくも破れましたが、出場した学生達は精一杯の力を見せてくれました。ロボット・ラボラトリのみなさん、感動をありがとうございました!



平成25年11月24日(日)、本校ロボット・ラボラトリが両国国技館で開催された「アイデア対決全国高等専門学校ロボットコンテスト2013全国大会」に、カメの兄弟をモチーフとしたロボット「カメニカルズ」と共に北海道地区大会優勝校として出場し、結果、全国大会ベスト8という優秀な成績をおさめました。

2013年 旭川高専 マシン紹介

Aチーム

JANPY(ジャンピー)

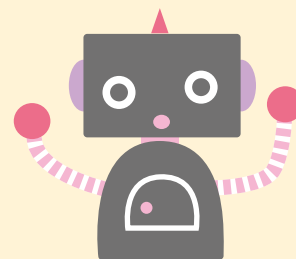


Aチームのマシンは旭川市のシンボルキャラクターである『あさっぴー』をモチーフに製作しました。このマシンの最大の特徴は、縄回しロボットの下部に取り付けられているアームに、ジャンプロボットの距離センサが反応してロボット同士がお互いに息を合わせて、縄跳びができることです。

機械システム工学科3年
森田 慧

ロボコンに 歴史あり!

高専ロボコンは、1988年に開催された第1回大会から今年まで、26年の歴史があります。本校は1989年に開催された第2回大会から出場し、今まで全国優勝2回、ロボコン大賞1回を受賞するなど、優秀な成績をおさめてきました。毎年すばらしいロボットを数多く生み出してきましたが、これまでのロボットの中で、特に個性的で印象深いロボットを紹介します。



Bチーム

カメニカルズ

Bチームのマシン、「カメニカルズ」の特徴は台形の軌道を描いて縄を回す縄回しロボットの中からジャンプロボットを操作できることです。最初から決めていたのではなく、自由度の高いマシンを作り、実際にロボットを動かしながら戦い方を決めていきました。

制御情報工学科4年
水谷健登



1993年

第6回大会 全国優勝
大雪山ジムカデ号

全国大会初出場で初優勝したロボットです。圧倒的な強さで勝ち続け、今でも「ジムカデの旭川」と言われるくらい、全国的にも有名なロボットです。学生が校長に優勝するために資金援助を求め、直談判したというエピソードも残っています。



課題「ステップダンス」 高さ60cmの階段を越え、フィールド内にあるセンターライン上の15個のラグビーボールを相手陣地に押し込み、より多くのボールを押し込んだ方が勝利となります。

1998年

第11回大会 ロボコン大賞
MACH-CHAN1号

全国大会2回目の出場でロボコン大賞を獲得したロボットです。地区大会で一回も勝てずに推薦で全国大会に出場しました。開始16秒という圧倒的な速さで勝ってしまう、旭川らしいロボットです。ロボットの故障でベスト4止まりでした。ロボットは秀峰会館に展示しています。



課題「生命上陸」 ロボットに搭載した自作の「種子」や「たまご」を大・中・小10個の島に向けて打ち出し、「生命」を誕生させます。生まれた生命が島内に留まると得点になり、得点の多いチームが勝利となります。

2003年

第16回大会 全国優勝
Untyred

優勝候補同士で大変盛り上がった決勝戦を勝ち、2回目の全国優勝を果たしました。ゲームを知り尽くし、冷静沈着な試合運びをしたドライバーが印象的です。このロボットのおかげで、真鍋かをりさんが取材のため来校しました。ロボットは図書館前ロビーに展示しています。



課題「鼎(KANAE)」 赤と青の2チームが、遠隔操作のロボットで、競技フィールドに設置された赤・青2色に塗られた回転盤にボール等をくっつけ、その重さで自分のチームの色に傾くように回転させて得点を奪います。回転盤は3つあり、得点の多いチームが勝利となります。

高専ロボコン2013
全国大会 ベスト8

制御情報工学科4年
水谷 健登



全国大会は両国国技館で行われました。昔、TVで見ていた場所に自分がいると思うと胸が熱くなりました。今回の大会は人間によるミスが勝敗を左右する部分が大きく、自分たちが勝てたのも負けたのもこれが理由です。ただ速いだけではなく安定性が非常に重要だと痛感しました。今回は残念ながらベスト8に終わってしまいましたが、自分たちに出せる最高の結果を残すことが出来たと思います。来年で最後となるのでより速く、より安定したマシンを作り、11年振り3度目の全国優勝を成し遂げたいと思います。

高専ロボコン
2013
全国大会を
振り返って



ロボットラボラトリ顧問
三井 聡

8回目のワン・ツーで地区大会を突破し、全国大会に出場しました。全国大会仕様の新しいロボットを製作し、調整と練習を繰り返して地区大会よりも30秒近くタイムを縮め、大会に挑みました。選手は緊張のせいか練習の成果を発揮できませんでした。ベスト8というすばらしい結果を残してくれました。全国大会の応援には部員、OB、保護者など50名以上の方が集まってくれます。大会終了後にはOB会が行われ、勝ち負けに関係なく後輩たちに労いの言葉をかけてくれます。一緒に苦労した仲間が集まってくれて今までやってきてよかったな、また来年も、と思わせてくれるひと時でもあります。久しぶりに全国優勝したいな。最後になりますが、多くの方々からのご理解と支援そして応援に感謝しております。



ANCT Voice

- アンクト ボイス -

NO.3

テーマ：
あの人にごめんなさい

実はあの人に謝りたい。そんな気持ちをひっそり抱えている人けっこういませんか？この機会に思い切って懺悔して、4月からの新しい生活をスッキリした気持ちで迎えましょう！きっと相手も許してくれるはず！？

回答してくれたみなさん、ありがとうございました！

平成26年度 行事予定 (4月～6月)

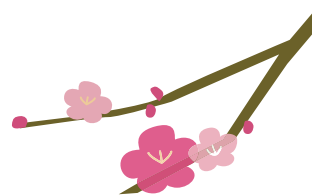
4月1日(火) ～ 4日(金)	春期休業
7日(月)	入学式
8日(火)	始業式・対面式・1年オリエンテーション
9日(水)	授業開始
11日(金)	健康診断
17日(木) ～ 18日(金)	新入生合宿研修(本科1年)
23日(水)	学生総会(7時限目)
5月2日(金)	休業日(開校記念日振替)
12日(月) ～ 15日(木)	平成27年度専攻科入学者選抜(推薦選抜)出願期間
14日(水)	英語能力判定テスト(本科1～3年)、TOEIC IPテスト(4・5年)
15日(木) ～ 16日(金)	校内体育大会
24日(土)	平成27年度専攻科入学者選抜(推薦選抜)試験日
6月2日(月) ～ 5日(木)	平成27年度専攻科入学者選抜(前期学力選抜)出願期間
9日(月) ～ 13日(金)	前期中間試験(本科)
14日(土)	平成27年度専攻科入学者選抜(前期学力選抜)試験日
25日(水)	進路に関する講演会(本科4年・専攻科1年)



編集後記

今年度のFANCTも、この118号で最後となりました。卒業生・修了生の皆さんにとっては、高専生活の終わりに読むFANCTということになります。そう思って読んでみると、また一層感慨深いのではないのでしょうか。高専で学んださまざまなことが、きっとこれから活きるはずです。本校を巣立つ皆さんの今後の人生が、素晴らしいものとなることを祈っています。

広報委員会 学校だより編集部会員 高田 知哉



FANCT vol.118

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて「Fun」(楽しい、愉快的)の音を付けました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しい学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8103(総務課総務係)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りしております。